目 次

発刊	にあ	たって
第 1	編	施工編
第 1	章	管きょ工 (開削工)
1	管	路土工3
	1)-	1 土工3
	1)-	2 人力掘削 (土砂)6
	1)-	3 機械掘削 (土砂)8
	1)-	4 埋戻し工12
	《参	考資料≫土量変化率17
2	管	基礎工21
3	管	布設工28
4	管	路土留工36
	4-	1 たて込み簡易土留工法38
	4-	2 軽量鋼矢板建込工法44
	4-	3 軽量鋼矢板工法(バイブロハンマ工)47
	4-	4 軽量鋼矢板工法(油圧圧入・引抜き工法)53
	4-	5 鋼矢板工法 (バイブロハンマ工)57
	4-	6 鋼矢板工法(油圧圧入・引抜き工)63
1 2 3 4 5 6 6 7 9 9	推天泥土泥圧 才 ボ 圧	管きょ工(小口径・中大口径推進工)66 進工法66 担口推進工法72 記水式推進工法79 記圧式推進工法87 記濃式推進工法101 三入式推進工法114 一ガ式推進工法121 三ーリング式推進工法(一重/二重ケーシング方式)125 三入式推進工法(取付管推進工法)129
第3	章	・ リング式推進工法(取付管推進工法)133 管きょエ(シールドエ)
	更	管きょ工(管きょ更生工)
	1)-	2 反転・形成工法177

第5章	: マンホールエ	86
1	マンホール設置工186	
2	副管工200	
第6章	: 取付管及びますエ	04
1	ます工204	
2	取付管工213	
第7章	: 立坑工 2	17
1	立坑工217	
1	ー 1 ライナープレート式土留工219	
1	- 2 鋼製ケーシング式土留工223	
第2編	維持管理・修繕編	
第1章	: 管路内清掃工 2	33
	管きょ内清掃作業233	
1	- 1 バケットマシーン作業234	
1	- 2 直接人力作業······235	
1	─3 高圧洗浄車作業······237	
1	○ - 4 吸引車作業······243	
2	伏越マンホール内清掃作業245	
2	─ 1 人力清掃作業······245	
2	─ 2 特殊清掃車作業······247	
2	- 3 吸泥車作業249	
3	ます清掃作業251	
3	-1 汚水ます及び取付管清掃作業251	
3	- 2 雨水ます清掃作業253	
4	土砂処分工254	
5	水替工256	
第2章	管路内調査工 2	57
	テレビカメラ調査257	
1	ー1 ミラー方式テレビカメラ調査257	
	- 2 ミラー方式テレビカメラ以外のテレビカメラ調査260	
1	一3 大口径管きょテレビカメラ調査(浮流式テレビカメラ)263	
	ー4 簡易的な取付管テレビカメラ調査265	
2	目視調査266	
3	管路内洗浄作業268	
4	誤接合調査269	

第3章	管路施設補修工·····	271
① 管	きょ補修工271	
1 -	1 内面補修工272	
1 -	2 止水工275	
1-	3 開削補修工277	
1-	4 ライニング工法279	
② ま	す・取付管補修工280	
2-	1 内面補修工280	
2-	2 支管閉塞工283	
2-	3 開削補修工286	
3 7	ンホール補修工288	
3-	1 上部補修工288	
3-	2 足掛金物補修工294	
3-	3 腐食対策工297	
④ 圧	力管補修工299	
4-	1 管補修299	
4-	2 弁補修302	
第3編	工法紹介	
第1章	更生工法(自立管)	307
	X (1 1)	001
① 反	転工法(熱硬化)······307	001
① 反 ①-	転工法 (熱硬化)307	001
	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307	
1	転工法 (熱硬化) ·····307 1 SGICP 工法·····307 2 SGICP-G 工法·····310	
①- ①-	転工法 (熱硬化) ·····307 1 SGICP 工法·····307 2 SGICP-G 工法·····310	
①- ①- ①-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312	
①- ①- ①- ①-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315	
①- ①- ①- ①-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317	
	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318	
	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ①-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法322	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法324	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②- ②- ③ 形	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法324 3 ポリエチレン・コンパクトパイプ工法326	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②- ②- ③ 形	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法322 2 EX 工法324 3 ポリエチレン・コンパクトパイプ工法326 成工法 (熱硬化)328	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②- ③ 形 ③- ③-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法324 3 ポリエチレン・コンパクトパイプ工法326 成工法 (熱硬化)328 1 FFT-S 工法328	
①- ①- ①- ①- ①- ①- ② 形 ②- ②- ②- ③ 形 ③- ③-	転工法 (熱硬化)307 1 SGICP 工法307 2 SGICP-G 工法310 3 SD ライナー工法312 4 C-ONE 工法315 5 スルーリング工法317 6 エポフィット工法318 7 ARIS ライナー工法319 8 Two-way ライニング工法321 成工法 (熱形成)322 1 オメガライナー工法322 2 EX 工法324 3 ポリエチレン・コンパクトパイプ工法326 成工法 (熱硬化)328 1 FFT-S 工法328 2 オールライナーZ工法330	

4 形成	匚法(光硬化)338
4 -1	シームレスシステム工法338
5 製管	工法(かん合製管)340
⑤ -1	SPR-SE 工法340
第2章 更生	生工法(複合管) 343
① 製管]	L法(かん合製管)343
①-1	SPR 工法343
①-2	SPR-NX 工法·····345
	エスロヒート下水熱らせん更生型347
$\bigcirc -4$	3S セグメント工法349
①-5	ダンビー工法351
①-6	SW ライナー工法353
$\bigcirc -7$	パルテム・フローリング工法355
1-8	クリアフロー工法357
2 製管]	工法(熱溶接製管)359
2-1	PFL 工法359
③ マンズ	ホール更生工法361
3-1	エコロガード工法ハイブリッド361
第3章 耐震	5.7. ++ 4 €
	優化技術
	大口径既設管耐震化工法363
	耐震一発くん365
	既設人孔耐震化工法367
	TTJ 工法369
	マグマロック工法372
	ゴライアス工法374
	ホール目地部耐震化工法······377
	ボンドくん(地震時人孔側塊目地ずれ抑制シート工法)377
	プレートロック工法379
③ マンボ	ホール浮上抑制技術······381
3-1	フロートレス工法381
3-2	アースドレーン工法383
3-3	バンガード工法385
第4章 マン	ンホール上部補修工
① 機械さ	せん断工法387
①-1	MR ² 工法387

(1)-2	LB 工法390
2 機械	刃断工法392
2-1	エポ工法392
2-2	TM 工法395
2-3	斜式 SS 工法397
2-4	パラボラ工法400
別表 「参考	付録 工法紹介」掲載工法一覧表 402
表一1	下水道管きょ更生工法技術保有会社及び連絡窓口一覧表402
表-2	マンホール更生工法技術保有会社及び連絡窓口一覧表404
表-3	マンホールと管きょ接続部耐震化工法技術保有会社及び連絡窓口
	一覧表405
表-4	マンホール側塊目地ずれ抑制工法技術保有会社及び連絡窓口一
	覧表405
表-5	マンホール浮上抑制技術保有会社及び連絡窓口一覧表405